

農学研究科カリキュラムマップ(令和7(2025)年度入学者用)

DP	1年次		2年次	
専門知識・理解 A	希少糖イノベーション		希少糖植物科学特論 希少糖応用生命科学特論 希少糖食品科学特論 応用生物科学クロストークセミナー	
	希少糖先端科学コース 専門科目	〈希少糖科学科目群〉 希少糖生産工学特論(I, II)、グライコバイオロジー特論、希少糖生産工学実習、希少糖物性化学特論、希少糖ビジネス特論		
	環境生物科学コース 専門科目	〈農業生産科学科目群〉 作物生産学特論 (I, II)、動物生産科学特論(I, II)、農業経営経済学特論 (II)		
		〈園芸科学科目群〉 園芸資源開発学特論 (I, II)、園芸資源生産学特論 (II)、園芸植物生理学特論 (I, II)		
		〈環境科学科目群〉 海洋科学特論 (I)、浅海生産環境学特論、生物地球化学特論、環境生態学特論 (I, II)、土壌環境学特論 (I, II)		
	生物化学・食品科学コース 専門科目	〈生物分子化学科目群〉 天然物化学特論 (I, II)、ケミカルバイオロジー特論 (II)、バイオマス化学特論 (II)、生物物理化学特論、Biomolecules: Basics and Recent Developments、生物制御部分		
		〈食品科学科目群〉 食品分子機能化学特論 (I)、食品栄養生理学特論、食品タンパク質機能学特論、食品衛		
	応用生命科学コース 専門科目	〈生命機能科学科目群〉 分子細胞生物学特論 (I, II)、応用微生物学特論 (I, II)、微生物生理学特論、応用酵素化学特論 (II)、動物細胞生物学特論、生体高分子学特論、醸造微生物学特論		
		〈植物ゲノム科学科目群〉 分子植物ストレス応答学特論 (II)、分子植物病理学特論 (II)、分子植物栄養学特論、分子植物育種学特論、植物遺伝子情報学特論		
	専攻セミナーⅠ、Ⅱ、Ⅲ			
	特別コース科目・他研究科専門科目			
	研究能力・応用力 B	応用生物科学先進科学セミナー		
		修士演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ		
研究指導(修士論文)				
実践演習				
社会的責任 C	科学研究リテラシー	修士インターンシップ		
		国際修士インターンシップ		
グローバルマインド D		国際演習A,B		
	ベーシック国際研究コミュニケーション	アドバンスド国際研究コミュニケーション		
	国際研究実践コミュニケーション			

基盤科目	
	基礎科目
	希少糖共通科目
	展開科目

専門科目	
	希少糖先端科学コース専門科目
	環境生物科学コース専門科目
	生物化学・食品科学コース専門科目
	応用生命科学コース専門科目
	専攻セミナー
	特別コース科目・他研究科専門科目

統合科目	
	演習科目
	大学院教養科目

農学研究科 令和7年度入学者用カリキュラム・マップ説明文

A 専門知識・理解

1年次に開講される「希少糖イノベーション」を含む希少糖共通科目により、希少糖を題材として研究開発マインドと希少糖科学の先端研究成果を身につけます。さらに1年次第1から第4クォーターに配置された4コースの専門科目により、応用生物学に関する幅広い専門知識を理解・修得します。さらに展開科目として1年次から2年次にかけて開講される「応用生物学先進科学セミナー」により、高度職業人として活躍するために必要な幅広い専門の知識を身につけます。

B 研究能力・応用力

1年次の「応用生物学クロストークセミナー」及び、1，2年次を通して研究室単位で行われる「専攻セミナー」により発表能力、議論構築能力を身につけます。さらに2年間にわたる複数の教員の指導による「修士演習」において、自らの専門に関わる課題を設定し、その解決のための作業仮説の設定とその検証方法の探索・決定、分析・解析を経て一定の結論を導き、これらを修士論文に取りまとめることを通じて研究能力・専門応用能力を培います。

C 倫理観・社会的責任

1年次第1クォーターに開講される「科学研究リテラシー」において、研究倫理、安全教育、情報リテラシー、知的財産など修士演習を遂行しかつ高度職業人として社会で活躍する上で基本となる知識を身につけます。

D グローバルマインド

1年次第1クォーターに開講される「ベーシック国際研究コミュニケーション」で英語によるプレゼンテーションスキルを身につけます。その上で「国際修士インターンシップ」、「アドバンスト国際研究コミュニケーション」、「国際研究実践コミュニケーション」などにより、より高度な英語・プレゼンテーション能力及び国際的な視野を培います。また在学中に留学を志向する学生は「国際演習」を履修して、海外での研究調査等に取り組み、研究実践的グローバルマインドを身につけます。さらにダブルディグリープログラム、ジョイントマスタープログラムに参加することによっても、グローバルマインドを身につけます。